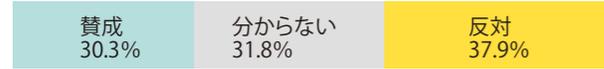


### 「原子力空母市民アンケート」から

2013.8.23～25実施 回答者1000人・横須賀市民

●横須賀に原子力空母が配備されていることについて、どう思われますか。



●原子力空母の安全性に関して、米海軍と日本政府の情報提供は十分だと思いますか。



●原子力空母の安全性に関して、横須賀市の安全対策の取り組みは十分だと思いますか。



●原子力空母「ジョージ・ワシントン」が横須賀に配備されて、2013年9月25日で5年が経ちました。この間、さまざまな既成事実が積み重ねられてきましたが、それでも「配備に反対」が、市民の声の第1位です。

●米海軍や日本政府の情報提供、横須賀市の安全対策の取り組みに関しても、「十分」と答えた市民は、わずかでした。



# 横須賀の軍港に浮かぶ原子力空母のふたつの

## 大事なことはみんなで決めよう

このリーフレットは「原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会」が作成しました。「成功させる会」は、「住民の安全・安心に関わる重要事項の決定には、市民が直接参加できるようにしてほしい」という街の声を実現するために2006年に発足し、2度の住民投票条例を求める直接請求の署名運動に取り組んできました。

2008年、原子力空母は横須賀市に配備されましたが、市民アンケートでも明らかなように、「安全性の確保」「情報公開」は不十分なままです。多重防護で安全が確保されているはずだった原子力発電所で事故が起きた今、あらためて、「原子力空母は本当に安全か」と問わないわけにはいきません。今求められているのは、

- 徹底した情報公開
  - 市民の安全を第一に考えた自治体のがんばり
- です。そして大事なことは、市民の総意で決める、ということ。原子力空母の母港の是非を、問い続けましょう。

発行

原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会  
〒238-0008 横須賀市大滝町1-26 清氷ビル3階  
横須賀市民法律事務所方  
電話:046-827-2713 FAX:046-827-2731



- 三笠公園
- 地裁横須賀支部
- 常葉中学校
- 諏訪小学校
- 横須賀市役所
- 横須賀郵便局
- 神奈川歯科大学
- 大滝町商店街
- 緑が丘高校
- 横須賀芸術劇場
- 汐入小学校
- 京急汐入駅
- シヨッパースプラザ
- ヴェルニ公園
- JR横須賀駅
- 逸見小学校
- ベイスターズ練習場
- 長浦小学校

# 福島第一原発1号炉と同規模の原子炉を積む原子力空母ジョージ・ワシントン

2008年9月25日 横須賀配備



## 「事故は起きない」と米軍は言うけれど…

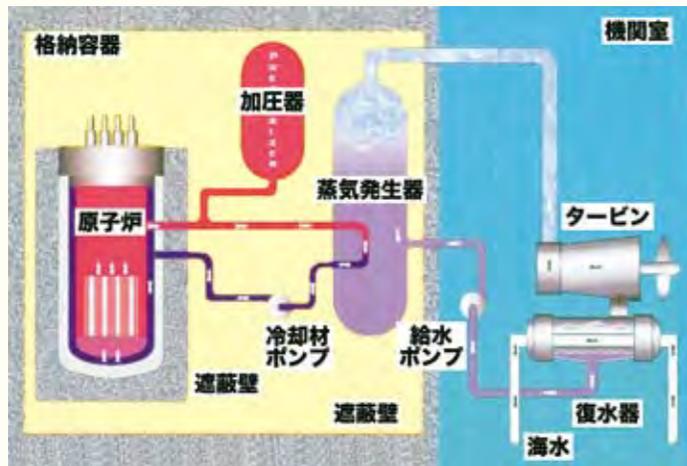
- 1971●米原潜ウッドロウ・ウィルソン、ガムで一次冷却水の圧力低下、メルトダウンの危険。
- 1971●米原潜スヌーク、故障で船体を傾けながら横須賀に入港、放射能汚染の疑い。
- 1975●米潜水艦母艦プロデュース、ガム湾内に、高放射能の一次冷却水を大量に放出、付近の海を汚染。
- 1976●米原潜から補給船に移していた冷却水500トンが川に漏出。
- 1977●米ピュージェット造船所で、2週間に4件の放射能汚染事故。3人の労働者が被曝。
- 1978●米原潜パファー、高放射能の一次冷却水を大量にピュージェット造船所内に流出。
- 1979●米原子力空母ニミッツ、原子炉部で一次冷却水漏れ。
- 1980●米原子力巡洋艦ロングビーチ、沖縄で高放射能検出。
- 1980●米原潜ホークビル、ピュージェット造船所で冷却水漏れ。5人が汚染、2人が内部被曝。
- 1982●米原潜サム・ヒューストン、ピュージェット造船所で冷却水漏れ。一人が汚染。
- 82以前●米原潜フォン・スチューベン原子炉が緊急停止、数時間漂流。
- 1983●米原潜サーゴ、ハワイで冷却水排出時に、放射能漏れ。
- 1985●米原子力空母カール・ビンソン等3隻の乗組員に原子炉の安全運転テストを行ったが不合格。
- 1986●米原潜ナサニエル・グリーン座礁、米原潜アトランタ座礁。
- 1988●英原潜レゾリューション、一次冷却水がとまり、あわやメルトダウンの事故。
- 1988●米原子力空母アイゼンハワー、商船と衝突事故。
- 1989●米原子力空母アブラハム・リンカーン330ガロンの低放射能冷却水を川に放出。
- 1989●米原潜フィンバック、資格のない水兵に訓練記録を改竄して原子炉操作権限を与え、乗組員が低レベルの放射性物質を含む機械を川に投棄。
- 1990●原子力空母ニミッツの4名の水兵、不適切な訓練によって、放射能安全を調べる定期点検にごまかしが行われていると内部告発。
- 1991●原子力巡洋艦ロングビーチ、バルブ弁故障のため、サンディエゴ湾内に一次冷却水が漏れる。他にも4つの港で放射能漏れ事故。乗組員の2名が白血病。
- 1992●原子力空母エンタープライズ、造船所で放射能を帯びた冷却水が漏れて、作業員9名と4室が汚染され600万ドルの浄化作業を要した。
- 1994●原子力空母エンタープライズ、ドライドックで修理中に原子炉室で火災。放射能物質が漏れた。
- 1995●原子力巡洋艦カリフォルニア、放射能を帯びた水が漏れ、3名の水兵が汚染。1名の水兵が原子炉室の機器のテスト中の事故により火傷。
- 1995●原潜ソルトレイクシティ、酩酊した乗組員が原子炉を当直監視し、司令官解任。
- 1996●ピュージェット造船所で、原子力艦アーカンサスの放射性蒸気漏れ。15時間事故を州政府に通報せず。
- 1996●原潜サンフランシスコ、グロートン基地で、水兵1名が原子炉への破壊行為の疑いで免職。原子炉の制御棒へ電力を供給するワイヤーが切断されていた。
- 1997●原潜ポーツマス、基地での作業中に、2人が被曝。
- 1998●アイダホの海軍原子炉実験施設から高レベルの放射能が検知。周辺の住民200名が避難。
- 1999●原子力空母ステニス、母港のサンディエゴ港内で座礁し、原子炉が2基とも緊急停止。
- 2000●原潜オリンピア、ハワイの造船所で修理中に放射性冷却水が漏れ、3名の労働者被曝。
- 2000●露原潜クルスク、爆発事故を起こして、原子炉ごとバレンツ海に沈む。
- 2000●英原潜タイアレス、地中海でメルトダウン寸前の事故。
- 2000●原潜アッシュビル、日本海で事故。佐世保に入港し潜水母艦に横付けして修理。
- 2002●原潜ヘレナ、黄海で、小型船と接触事故。
- 2004●原潜ラホヤ、佐世保寄港中に、電気ケーブル火災。
- 2005●原潜サンフランシスコ、ガム沖で海底火山に衝突。艦首を大破。1名死亡、99名負傷。
- 2006●原潜ヒューストンで2年間放射能漏れ。この間横須賀、佐世保、沖縄に寄港。
- 2006●横須賀寄港中の原潜ホルルル出港時の海水から、コバルト58、60が検出される。
- 2007●原潜ハンブロン、原子炉の安全点検を1月以上行わず、隠蔽のため、点検記録も改竄。
- 2008●原子力空母G・ワシントン、乗組員のタバコの不始末で火災。80ヶ所の電気ケーブルが被災。
- 2010●原潜マイアミ、ポーツマス海軍工廠で火災。7名が負傷。

## 原子力艦船の放射能事故は日常的に起きています。

それだけでは  
ありません。さらに  
深刻な事態が  
想定されて  
います。

## 米海軍の原子炉と 原発は兄弟です

### ジョージ・ワシントンの原子炉 熱出力60万kw×2基



●原子力空母は2基の原子炉を積み、核分裂反応による熱で作った水蒸気でタービンを回して航行します。原子力発電用の加圧水型軽水炉(福島第一原発は沸騰水型)は、海軍の原子炉が原型。原子力発電の原子炉と海軍原子炉は「兄弟」の関係です。



原発の危険性を訴え続けてきた京都大学原子炉実験所助教の小出裕章さんが、横浜の講演会で指摘

## 安全審査なしで配備

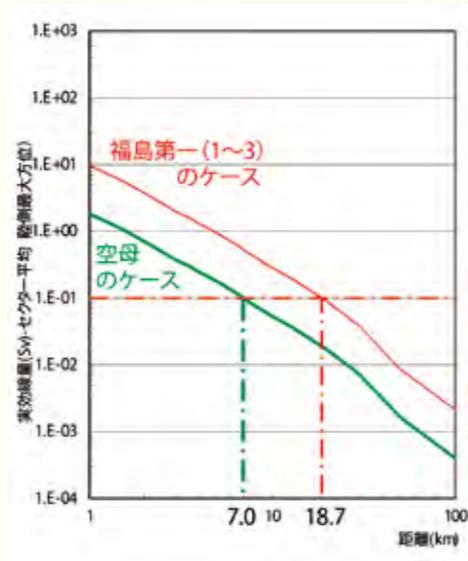
続いて女優の松田美由紀さんと対談。松田さんが横須賀に米海軍の原子力空母が配備されていることに触れると、小出さんは「どんな原子炉も安全ではない。だが、米軍の空母の原子炉は日本政府の審査さえ受けていない」と指摘。

●安全審査を受けて建設された原発でも、事故は起きました。原子力空母は、その「安全審査」もないまま、横須賀に配備されています。福島原発事故以後も、米政府は原子力艦船の、原子炉の構造等の技術情報を一切公表しないままです。

●原子力空母の核燃料の交換は、20年〜25年に1回。高濃縮ウランの核燃料を使うことで、長期連続使用が可能になったと米海軍は説明します。20年〜25年もの間、核燃料を交換しないとどうなるか。原子炉の運転によって生まれる核分裂生成物(いわゆる「死の灰」)は、20年分以上が空母の中に溜め込まれます。万が一の事故の際は、艦内にためこんだ大量の「死の灰」が、大気に放出される、ということなのです。

## 20年分以上の「死の灰」

## 原子力空母の核燃料交換は25年に1回 原発は1年に1度、核燃料を交換



原子力空母の事故における実効(放射)線量の広がり(福島第一原発の気象条件による計算結果をもとにしたケース)上澤レポートより

●福島原発事故を契機として、政府は新しい被害想定に基づいて、原発周辺30キロ以内を防災重点区域とし、関係自治体に避難計画の策定やヨウ素剤の事前配布を求めています。ところが原子力空母では被害は3キロしか及ばないという、時代遅れの想定のままの状態で、狭い範囲の防災訓練しか行われていません。原子力資料情報室・上澤千尋研究員の新しい国の被害想定に基づく試算によると、原子力空母も少なくとも、周辺10・5キロについて、防災重点区域とされるべきだという結果でした。この範囲には、横須賀市全域だけでなく、横浜市、鎌倉市、逗子市、葉山町、三浦市が含まれ、広域的な原子力空母事故防災計画が緊急に必要です。

## 皆さんが住んでいる地域では 原子力空母事故防災訓練が 行われていますか。

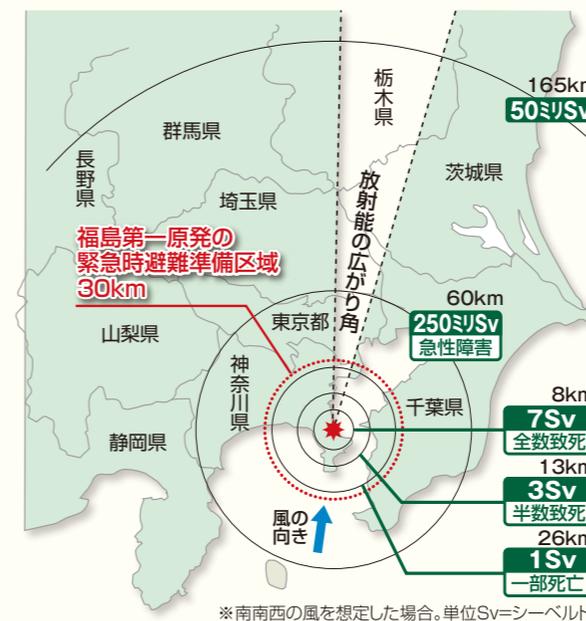
## 大地震で想定される事故

- 津波で乗り上げ、海水の取水喪失
- 冷却施設の電源喪失
- 艦内の非常用装置の機能喪失

水素爆発、メルトダウン・水蒸気爆発による格納容器等の破壊

## 艦外への放射性物質の放出

2011年3月11日、G・ワシントンは横須賀基地で定期修理中でした。地震の影響はなかったと米軍は言いますが、星条旗新聞は「水位は6フィート(183cm)下がり、揺れは非常に強くて船を埠頭岸壁から離すほどだった」と乗組員の証言を伝えています。直下型地震が基地を直撃すれば、原子力空母の原子炉も決して安全ではありません。



## 原子力空母事故 放射能被害予測

## 三浦半島の全域 致死被害深刻に

原子力資料情報室が予測

空母40年  
原子力空母  
5年

●1973年10月5日、空母ミッドウェイが横須賀を母港としました。以後、インディペンデンス、キティーホークと米空母は代替わりし、2008年には原子力空母ジョージ・ワシントンが配備されました。●当初、空母の配備は「両3年」と政府は説明しましたが、世界で唯一の海外母港は、40年後の今も続いています。●横須賀を母港とした空母は、湾岸戦争やイラク戦争で先制攻撃の中心的役割を担い、厚木基地では艦載機による飛行訓練の爆音が、周辺住民を苦しめています。●日本では原子力艦船の修理はしない、放射性廃棄物は艦外に出さないという日米政府の「約束」も反古にされ、2009年以降、原子炉等の動力システムを含む定期修理と、放射性廃棄物の搬出が毎年繰り返されています。



写真は1972年の市民大会。街ぐるみの反対運動でした。

## さらに 詳しい資料を ご希望の方は

●パンフレット等、さらに詳しい資料は「成功させる会」(TEL:046-827-2713)へお問い合わせください。  
●<http://cvn.jpn.org/>(原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会)にも、関係資料が掲載されています。